

ハイライトよねやま 48

(財)ロータリー米山記念奨学会
2004年2月10日発行

1. 寄付金速報 ~ 下半期の寄付状況

1月までの寄付金は、前年同期と比べ6.0%減、約7千万円の減少でした。普通寄付金が2.3%減、特別寄付金が8.1%減です。寄付は依然として厳しい状況ですが、寄付の減少をくい止めているのは、ロータリアン皆様のご努力の賜です。米山奨学会事務局も皆様に役立つ情報提供に努めてまいりますので、ユニークな寄付集めのアイデアなどございましたら、ぜひお寄せ下さい。一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

2. 第2期基礎調査タスクフォース委員会開催報告 ~ みんなで考える米山奨学事業へ ~

1月23日(金)に、第2期基礎調査()タスクフォースの第2回委員会が開催されました。昨年、1,000人規模のロータリアンを対象に行ったアンケート調査の結果を分析した上で、さまざまな意見交換がなされました。今回の調査結果から、ロータリアンが重視する米山奨学事業の目的や、奨学生に求める「優秀性」の中身が、より具体的に明らかとなりました。また、記述式回答では、日本人学生への支援や、奨学生採用における地区裁量枠の新設など、新しい意見も登場しています。3月2日の次回委員会では、元奨学生を対象とした調査結果について、分析・協議を進める予定です。

()第2期基礎調査：米山奨学事業中期計画策定のための調査。調査結果は、次年度1年間をかけて各地区で協議され、2006年度の制度改編に反映される。

3. 今月の“よねやまだより”は、『世界に飛躍する米山学友』

ロータリーの友2月号の“よねやまだより”では、世界理解月間にちなんで、世界各地で活躍中の5人の米山学友を紹介しています。米山奨学事業50年の成果を示すほんの一部の例ですが、彼らが日本留学で培った経験が、今日どのように生かされているか、ぜひご一読ください。

そのほかにも、同誌では、昨年のロータリー日韓親善会議で大きな感動を呼んだ、韓国出身の米山学友 ^{フアン} ^セ ^ミ Hwang Saemeeさん(2001-02年度奨学生/国際基督教大学大学院/東京南RC)のスピーチ『矛盾から希望へ』も、世界理解月間の特集の一つとして紹介されています。

4. 「トラブルに巻き込まれないために」米山奨学会ホームページに掲載

米山奨学会では、昨年末から「米山奨学生へのお知らせ」として、SARSに関する情報と、留学生のトラブルを防ぐ注意事項をホームページに掲載して、奨学生に注意を呼びかけています。特に、最近では、留学生を含めて外国人への取り締まりが強化され、日本人であれば全くとがめられないことでも、外国人については強制送還の理由とされるケースがあります。「トラブルに巻き込まれないために」は、(財)アジア学生文化協会・留学生相談室の許可を得て、同財団のホームページから、分かりやすい解説とともに、具体的な注意点を転載しています。米山奨学生が無用のトラブルに巻き込まれないよう、各地区・各クラブの奨学生ご担当者様からも、ぜひご指導くださいますようお願いいたします。

(http://www.rotary-yoneyama.or.jp/news/notice_trouble.html)

表彰制度を改定しました！ 本年度から累計十万円毎に米山功労者として表彰いたします。詳しくはホームページをご覧ください。

(裏面につづく)

5 . イラン大地震の人道支援に米山学友が協力

昨年 12 月 26 日にイラン南東部で発生した大地震は、死者数 41,000 人を超える未曾有の大惨事となりました。イラン出身で、東京工業大学博士課程に在学中の米山学友、アレズ・ファクレジャハニさん（1997-99 年度奨学生 / 東京工業大学大学院 / 東京日本橋東 RC）は、「少しでも被災者の助けになりたい」と、イラン最大のイマーム・ホメイニ病院の救急センター長と連絡を取りあい、日本から緊急医療物資を送る支援活動を立ち上げました。大阪外国語大学ペルシャ語学科の全面的な協力を得て、ホームページで呼びかけたところ、年末年始にもかかわらず、多くの大学、病院、企業、官公庁などから賛同が集まり、脊髄損傷患者用のエアーマットや大量の医薬品などを現地に届けることができたとのこと。今後は長期的な支援に移行する必要性から、活動を引き継げるボランティア団体を探しているとのこと。

6 . 米山奨学会学友会（関東）初代会長の E.A. チョウドリ氏、逝く

～ 母国バングラデシュの教育振興に力を尽くす～

国内最初の米山奨学会学友会、関東学友会（現東京学友会）の初代会長を務めたバングラデシュ出身の米山学友、イスカンダール・アメッド・チョウドリ氏（1970-72 年度奨学生 / 東京外国語大学 / 東京銀座 RC）が、1 月 29 日、バングラデシュにて永眠されました。享年 71 歳でした。

チョウドリ氏は、母国の教育振興に強い使命感と情熱をもち、故郷のベタギ村の学校再建に尽力しました。国際ロータリー第 2770 地区の多大なる支援を得て再建された学校は、ロータリー・ベタギ・ユニオン・ハイスクールと改名されて、現在も地域の教育の場として重要な役割を果たしています。次なる段階として、チョウドリ氏は、職業訓練校の設立にも着手していましたが、心臓病のため、道半ばで急逝されました。チョウドリ氏のご冥福をお祈りいたします。

(財)ロータリー米山記念奨学会 編集担当：峯^{みね}
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-3 abc 会館ビル 8 階
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>